

当院における非侵襲的なアンチエイジング治療の実際

横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科・再建外科
 ○黄 聖琥 佐武 利彦 菅原 順 鳥飼勝行
 小田原銀座クリニック Anti Aging Medical Institute
 岡村 博貴 北山 晋也 金子 真奈美
 横浜銀座クリニック
 一原 亮 水野 惇子

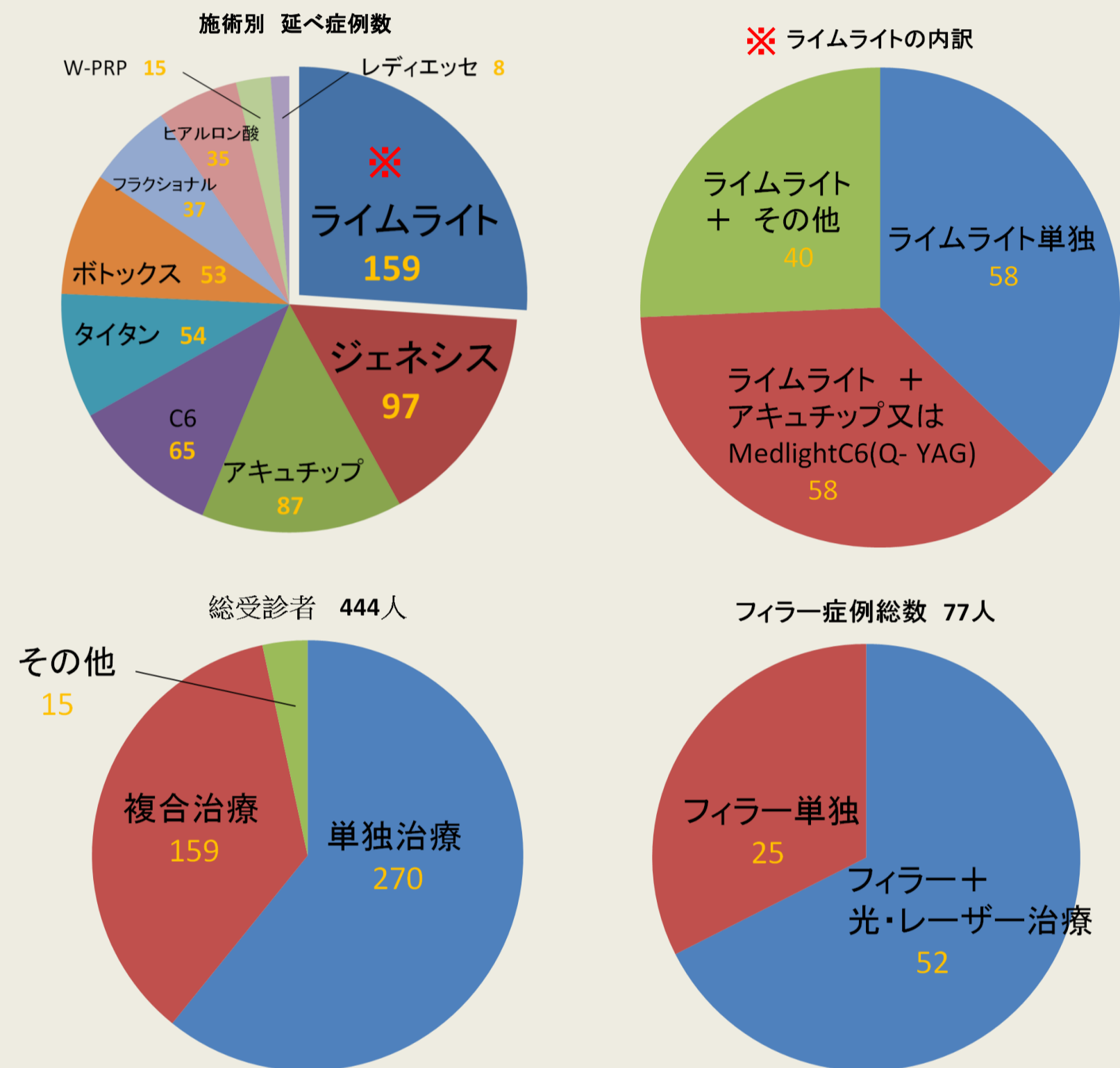
はじめに

近年できるだけ切らずに治す非侵襲的なアンチエイジング治療は外科的な治療に比べ、効果やその持続期間に関して劣るところはあるものの、ダウンタイムや治療時の負担が軽く、実際の医療現場では広く行われている。

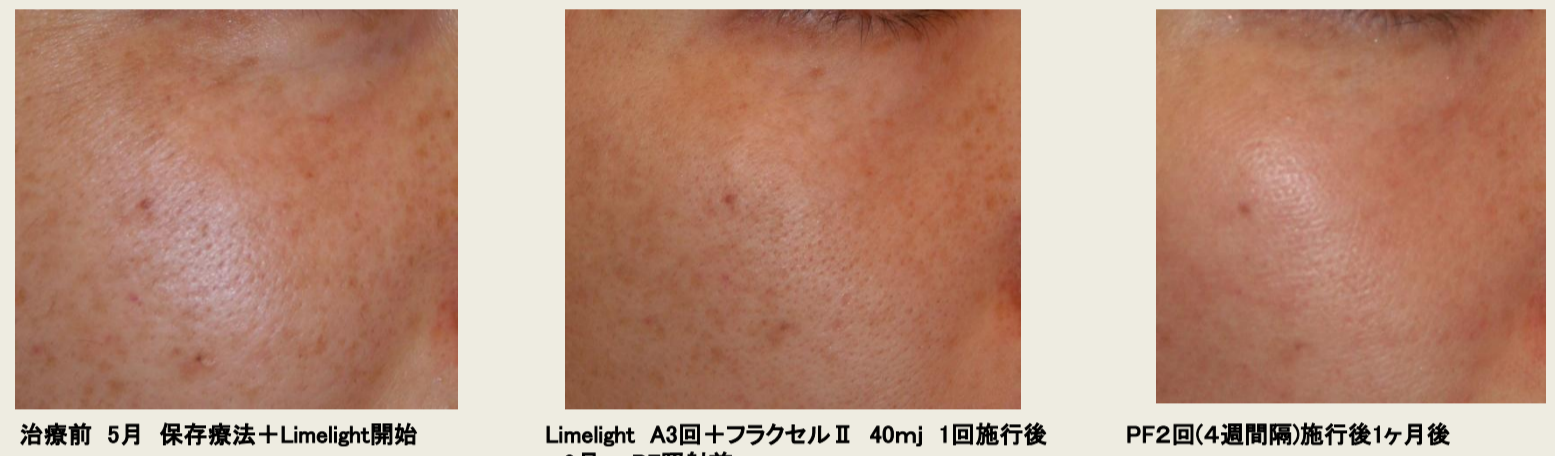
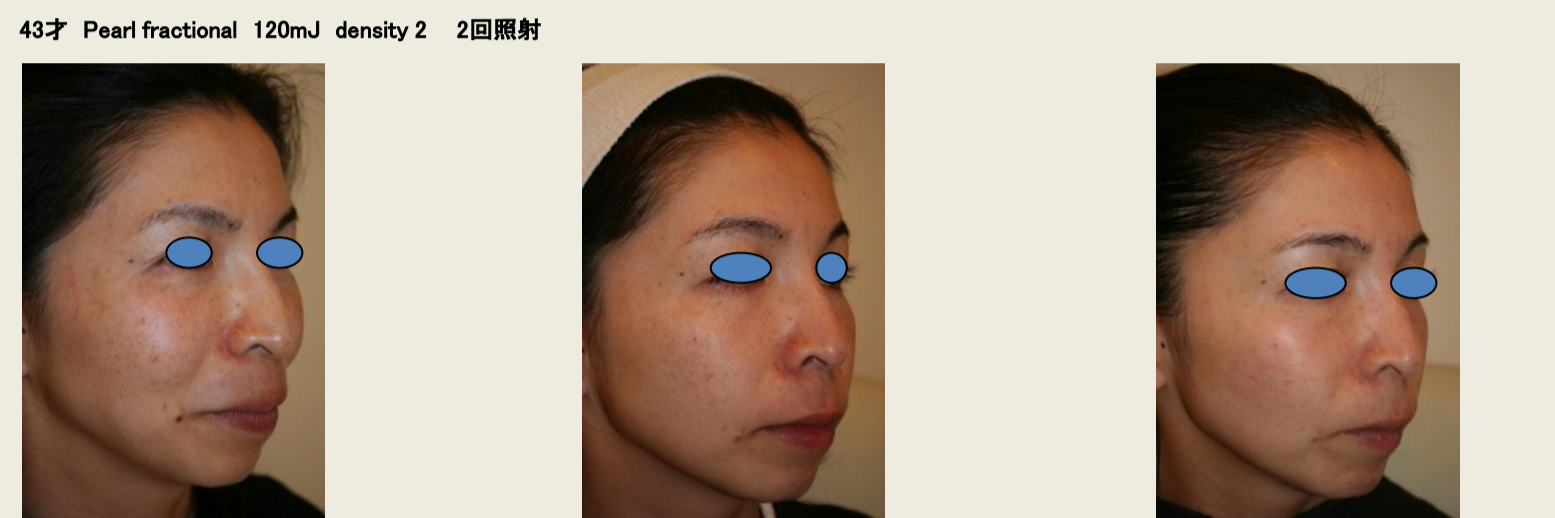
当院(小田原銀座クリニック)ではキュテラ社のライムライト(IPL)、ジェネシス(ロングパルスYAGレーザー)、タイタン(近赤外線ライト)などの機器による治療を中心に、各種フィラー療法(BTX、ヒアルロン酸、W-PRP)などを併せて治療を行っている。2008年11月より2010年7月までにおいて、当院で行った非侵襲的なアンチエイジング治療の内訳を示す。また、各施術は様々な治療期間で単独または複合的に施行されており、それぞれ代表的な症例を示す。

当院での治療の概要

- しみ・くすみ(老人性色素斑、雀卵斑、肝斑、ADM)
 - 肝斑のある方は**保存療法**として日焼け止め・スキンケア(摩擦禁止)を指導し、トラネキサム酸1000mg/日の内服と4%ヒドロキノンクリームの外用を勧める。
 - 上記主訴に肌質(肌理・毛穴・小じわ)改善効果の希望のある患者には、まずライムライト治療を勧める。また治療によるダウンタイムを気にされている患者にもライムライトを勧める。取りきれないシミに対してアキュテップやQ-YAGレーザーで対応する。ただし、ADMなどの効果の望めない病変に対してはレーザーなどで対応する。
- シワ・たるみ・毛穴・肌理に関して
 - フィラーを用いない場合
「浅いシワ・毛穴・肌理」に関してはライムライト・ジェネシスを勧め、さらに効果を出したい場合は、ダウンタイムのことを説明の上フラクショナル治療を勧める。「たるみ」に関しては下顎のフェイスライン、頬のリフトアップに対してタイタン単独またはジェネシスとの複合治療を勧める。
 - フィラーを用いる場合
前額・眉間・目尻など表情筋の動きによるシワはボトックスを勧める。法令線、マリオネットライン、下眼瞼の陥凹にはヒアルロン酸を、効果と持続性を望む場合はW-PRP+b-FGFを勧める。深い法令線、骨格形成(鼻根部・頬・頬)にはレディエッセを勧める。



Er:YSGG Laser pearl fractional

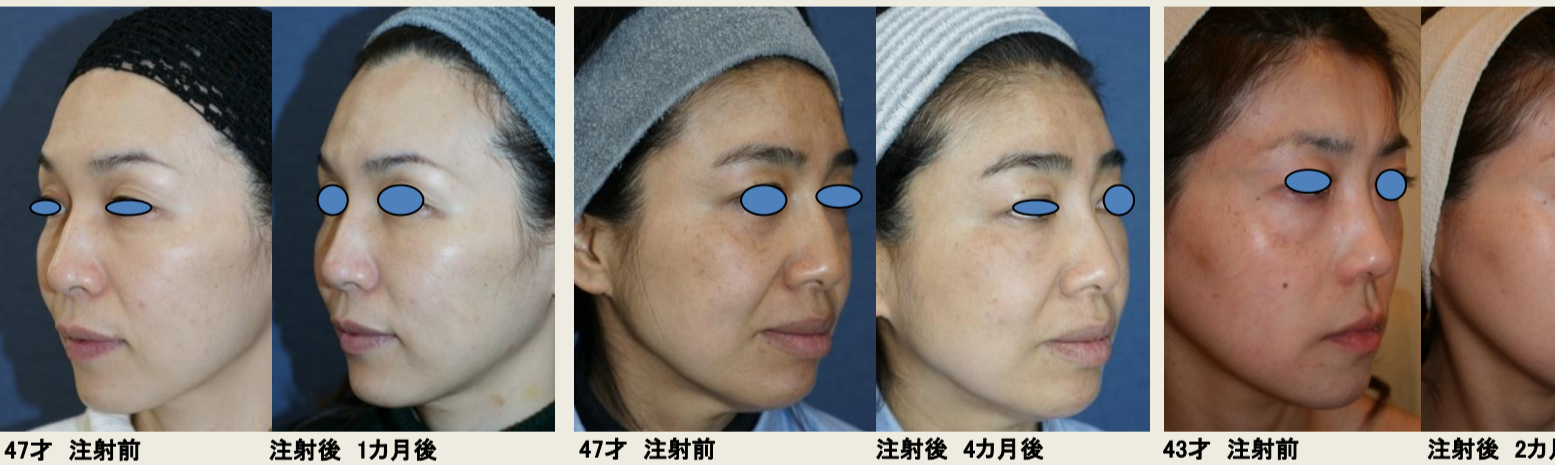


45才 Pearl fractional 180mj density 2 1回照射後 + Eco2(CO2fractional) 80mj 30w 200spot/cm² 1回照射



W-PRP+b-FGF セルリバイブジータ

3症例全て、下眼瞼の痛みと法令線に注入。計2.5ml~3ml 注入



複合治療



65才 保存療法 + Titan 40J 3回 + Limelight A 3回 BTX(前額・眉間・眼尻) + レディエッセ(法令線) + ヒアルロン酸(口角周囲) 1月⇒5ヶ月⇒6月

43才 2007年~保存療法+Limelight+Genesis+Titan(1~2ヵ月毎) 下眼瞼脂肪移植する効果不良 2009年12月 W-PRP+b-FGF施行 2010年1月 Eco2 (20mj 30w 100spot/cm²) 以降 保存療法+Limelight+Genesis+Titan(1~2ヵ月毎)継続 左写真は2010年 6月時

考察・まとめ

- 当院受診患者の大多数は40代~60代で、主訴の大半は「シミ・くすみ」であり、次いで多いのが「小じわ、たるみ、肌質」などであった。従ってライムライト、アキュテップ、C6(Q-YAG Laser)などの施術が多かった。
- ライムライトはその治療特性より、メラニンの排除以外にも肌質改善(肌理・小じわ・毛穴改善・脱毛効果)などを有し、ダウンタイムも短く患者満足度は非常に高く、リピート率が高い施術であった。
- ただライムライトで治療困難または再発するシミ、ADMなども少なく、アキュテップやQ-YAGレーザーを補助的に用いることも多かった。
- シミやくすみ改善されていくと、小じわ、たるみが気になり、ジェネシス・タイタンや各種フィラー療法の治療を希望されるという流れが多かった。
- フラクショナルレーザー治療(パールフラクショナル)は非常に効果が出る治療であるが、non-abrativeな治療よりも時間と症状そのものに関して明らかなdown timeを生じるので、施術や効果、施術後のことを患者によく説明した上で、治療にのぞむ必要がある。
- セルリバイブジータ(W-PRP+b-FGF)は非常に効果的で、患者満足度も高いが、over corectionの際の修正をどうするか、肉芽腫の報告(プロトコルが既存のものではない可能性がある)などもあり、患者への説明も含め慎重な適応が必要である。
- 今回は症例写真を提示するのみであったが、施術の効果を評価するにあたり、色調の評価、シワ・たるみの評価などを再現性を持って客観的に評価する必要がある。当院では色調の評価に画像診断器を用いるなどしているが、客観性のある評価法についてもさらに検討していきたいと思う。

Intense Pulsed Light limelight



Long pulse YAG laser Genesis



広帯域赤外線ライト Titan

